

基本方針1 大阪府立図書館は、市町村立図書館を支え、大阪府全域の図書館サービスを発展させます。

重点目標 1-1	府域市町村立図書館へのより効果的な資料および情報の提供を行い、図書館間相互の連携・協力を強化します。			
評価	【評価の理由】			
重点指標	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
協力貸出冊数(市町村)	66,756	毎年 67,000		
協力車による市町村間物流冊数 ※平成24年度上半期(4月～9月)の数値	13,426※ (26,852)	最終年度に 30,000		
【アクション・プラン】				
平成25年度	平成26年度		平成27年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力貸出の、貸出対象範囲に関する検討結果を踏まえ、帯出区分の緩和を試行</li> <li>・協力貸出／市町村間物流の資料分析 [H23 外部評価]</li> <li>・次期搬送業務委託(H26/10～)に向けて仕様の検討</li> </ul>				
<p>【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力貸出の一層の増加に向け、平成24年度に行った検討を踏まえ、帯出区分の緩和(試行)を行う</li> <li>・上記施行結果を含め、どのような資料が協力貸出や相互貸借で利用されているか、府内他館の協力を得て分析を行う。</li> <li>・協力車の搬送量は一貫して増加傾向にあるため、平成26年10月からの搬送業務委託契約に向けて、仕様の検討(搬送コースの再編、大阪市との連携強化も含む)を行ない、予算確保に向けて努力する</li> </ul>				

基本方針1 大阪府立図書館は、市町村立図書館を支え、大阪府全域の図書館サービスを発展させます。

<b>重点目標</b> 1-2	府域図書館職員のスキルの向上を図るため、研修事業を充実させます。			
<b>評価</b>		【評価の理由】		
<b>重点指標</b>	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
研修実施日数	21	毎年20日		
参加者満足度	9.7	毎年平均9.0以上		
研修のべ参加者数	518	毎年600		
【アクション・プラン】				
平成25年度	平成26年度		平成27年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「出前講習」の拡充</li> <li>・司書セミナー等の、これまで府立図書館で行ってきた研修を着実に実施</li> <li>・府域職員を対象とした研修の、体系的な計画の策定</li> </ul>				
【アクション・プランのねらい】（25年度当初に記入）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・府域内図書館の規模や地域性によって違ってくる利用者のニーズに各図書館職員が対応できるように、オーダーに合わせた「出前講習」をすることにより、府域内図書館職員のスキルアップの支援を行う。</li> <li>・経験年数や担当業務によってスキルアップへの要求内容も変わってくることから、図書館員のレベルに合わせた研修も行えるように計画する。組織的なニーズと職員個々のニーズを満たす研修を実施することにより体系的な研修計画の策定に向けて検討する。</li> </ul>				

基本方針1 大阪府立図書館は、市町村立図書館を支え、大阪府全域の図書館サービスを発展させます。

<b>重点目標</b> 1-3	府域図書館活動を推進するため、近隣府県の公共図書館のほか、学校図書館、大学図書館、国立国会図書館、専門図書館、類縁機関その他の社会教育機関・施設や行政機関等との連携・協力を広げます。			
<b>評価</b>		【評価の理由】		
<b>重点指標</b>	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
府域図書館活動の推進に資する連携事業実施回数	17	最終年度までに 20		
連携先数	10	最終年度までに 14		
【アクション・プラン】				
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・府立図書館の近隣にある大学等と情報交換を行い、連携事業の可能性をさぐる</li> <li>・MOBIO(ものづくり支援センター)と共催している読書会等、すでに実施している連携事業を継続するとともに、さらなる拡充をめざす</li> </ul>				
【アクション・プランのねらい】（25年度当初に記入）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度は、これまでに連携できている機関を中心に、連絡調整や会議等を着実にを行い、連携事業のさらなる充実を図る。</li> <li>・平成 26 年度以降は、連携の可能性がある機関とも積極的に連絡を取りあい、新たな連携事業を展開できるよう調整する。</li> <li>・HP の「大阪近辺類縁機関案内」の更新を行う。作業に際しては、相手機関への直接連絡により、最新の情報を反映する。</li> </ul>				

基本方針1 大阪府立図書館は、市町村立図書館を支え、大阪府全域の図書館サービスを発展させます。

<b>重点目標</b> 1-4	図書館サービスを充実させるための調査・研究活動を進めるとともに、府立図書館職員の専門性を高める取組みを推進します。			
<b>評価</b>	【評価の理由】			
<b>重点指標</b>	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
成果報告・発表件数(のべ発表回数)	38回	毎年40回		
成果報告・発表件数(文書による報告)	6件	毎年6件		
主要外部(公募)研修※への参加	100%	毎年100%		
【アクション・プラン】				
平成25年度	平成26年度		平成27年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館職員の研修に関するアンケート調査を実施、結果を分析して、研修計画に反映</li> <li>・研修参加報告、研究成果報告等を行い、府立図書館内および府域図書館等での情報共有を推進</li> <li>・府内外の図書館の実態調査とアンケートの検討</li> </ul>				
【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書としての専門性を高める研修に積極的に参加し、知見を広めることで、重点目標1-1、1-2へ反映することができる。また、OLA(大阪公共図書館協会)研究委員会における府域図書館職員との共同研究活動等、府域図書館職員とともに専門性を高めあう取組みへの参加を推進する。</li> <li>・研修に関するアンケートを実施、検証することにより府域内図書館のニーズを把握し、重点目標1-1、1-2へ反映することも目指す。</li> <li>・府内外の図書館の実態の把握や図書館で取り組むべきサービスを検討するため、アンケート調査を行い、実施にむけての検討材料とする。</li> <li>・府立図書館職員の個々の専門性を高め、図書館サービスのあり方を考える機会を持つことにより、図書館サービスの充実を目指す。</li> </ul>				
<p>※①文部科学省図書館地区別研修 ②図書館司書専門講座 ③新任図書館長研修 ④全国図書館大会 ⑤全国公共図書館研究集会 ⑥近畿公共図書館協会研究集会 ⑦大阪公共図書館大会 ⑧漢籍担当職員講習会 ただし、該当なし(③)または抽選もれ(⑧)により参加できない場合等、各年事情を考慮の上評価する</p>				

基本方針 2 大阪府立図書館は、幅広い資料の収集・保存に努め、すべての府民が正確な情報・知識を得られるようサポートします。

<b>重点目標</b> 2-1	より効果的な蔵書の構築を行うとともに、大阪府域における「資料の保存図書館」としての役割をはたすため、資料収蔵能力確保の取組みを進めます。			
<b>評価</b>	【評価の理由】			
<b>重点指標</b>	24 年度末 実績	<b>目標</b>	25 年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
蔵書満足度(両館平均)	78% (※23 年度)	80%を維持		
蔵書評価の実施	—	最終年度に結果報告 の作成		
府域での資料保存体制の検討	—	府域図書館の現状把握と参加可能館との調整に着手		
<b>【アクション・プラン】</b>				
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
≪蔵書評価[H22 外部評価]≫ ・OLA加盟館および来館者に対して図書館資料の質と量に関する満足度のアンケートを実施  ・特定分野における基本参考資料の所蔵状況評価  ・府内市町村立図書館等の蔵書との比較調査の実施  ≪資料収蔵能力の確保≫ ・蔵書構成検討チームの報告を受けて、複本の精査、媒体変換、劣化資料の払出等の実施  ・府内市町村図書館における収蔵能力調査の実施				

## 【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)

- ・効果的な蔵書の構築をめざすための検証を行うため、アンケートによる蔵書評価(満足度調査、資料到達度調査等)方法を検討・実施し、平成26年度以降その検証とまとめを行う。
- ・資料収蔵能力を確保するため、蔵書構成検討チームが策定予定の資料保存ガイドラインに基づき、複本や劣化資料の調査等による資料の払出等を行う。
- ・府内市町村図書館や他機関と連携し、府域全体で円滑に資料が利用されるような資料保存システムを検討するための基礎資料として、他館との蔵書重複調査や他館収蔵能力の実態調査を行い、参加可能な館・機関から調整に着手する。

基本方針 2 大阪府立図書館は、幅広い資料の収集・保存に努め、すべての府民が正確な情報・知識を得られるようサポートします。

<b>重点目標</b> 2-2	図書館資料と検索技術に精通した職員（司書）の専門性を活かし、レファレンスや資料提供サービスを充実させます。			
<b>評価</b>		【評価の理由】		
<b>重点指標</b>	24年度末実績	<b>目標</b>	25年度末実績	進捗(□は中間結果)
e-レファレンス受付件数 (図書館からの依頼を含む)	509	最終年度に 550		
レファレンス満足度	93%	毎年 95%		
調査ガイド・資料一覧等アクセス数	985,091	毎年 1,000,000		
利用者向け講座開催数	2(中央)	毎年 6(中央)		
政策立案支援サービス利用件数	558	毎年 580		
<b>【アクション・プラン】</b>				
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
① ・レファレンスの質問・内容・満足度に関する調査・分析・研究 ・「レファレンス満足度」アンケートの実施  ② ・レファレンスに関する館内、課内研修の実施 ・レファレンス事例公開の推進  ③ ・利用者向け講習会の実施 ・調査ガイド等の作成・公開の推進 ・図書館所蔵資料を紹介するため、展示をより充実したものにするべく体制を整備  ④政策立案支援サービス ・SDI サービスの実現、利用の促進 ・他館資料文献の取寄せ実現のための調査・準備				

## 【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)

レファレンスの内容, 質の充実を図り、レファレンス満足度 95%の維持をめざすために、

- ①レファレンスサービスの質問内容・満足度に関する調査・分析を行い（\*）、資料収集、職員研修、パスファインダーの作成等日々の業務に活かしていく。
- ②職員のレファレンス能力の向上に努める
- ③利用者の図書館利用リテラシーの向上を図る
- ④政策立案支援サービスの充実に努める

上記の結果として、大阪府立図書館のレファレンスサービスの信頼度を高め、レファレンス受付件数の増加を目指す。

\* 「レファレンス満足度」については、確固たる定義がなされていないため、レファレンス検討委員会と担当課でレファレンスの評価に関する研究（レファレンスサービス利用の調査・分析）を行うものとする。

「

基本方針 2 大阪府立図書館は、幅広い資料の収集・保存に努め、すべての府民が正確な情報・知識を得られるようサポートします。

<b>重点目標</b> 2-3	ビジネス支援サービスの新たな展開と強化を図ります。			
<b>評価</b>	【評価の理由】			
<b>重点指標</b>	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
連携先の催しの当館メルマガへの掲載件数	16	毎年 20 件		
連携先の催しで当館ビジネス支援サービス関連広報物を配布した件数	5	毎年 10 件		
レファレンス事例データベースにアップした件数	16	毎年 30 件		
府域市町村図書館へのビジネスに関連する出張セミナー回数	1	毎年 2 回		
展示・講座等の開催回数	26	毎年 18 回		
【アクション・プラン】				
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪のビジネス活動等を支援するサービスの展開 (府及び府域市町村の関係部署並びに他機関との連携で、効率よく、スピーディなビジネス支援サービスを展開)</li> <li>・ビジネス支援サービスの推進 (府民へのビジネス支援サービス広報活動、及び府域市町村図書館が展開するビジネス支援サービスへの支援)</li> <li>・就職・転職・再就職支援、起業・開業支援の推進</li> </ul>				

【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)

- ・大阪のビジネスとビジネスパーソン（未来のビジネスパーソンも含めて）の活動を支援する。
- ・ビジネス関連機関との連携を深めることにより、ビジネス支援サービスをより広く浸透させることを目指す。
- ・府城市町村図書館への支援を通じてビジネス支援サービスの推進を図る。

基本方針 2 大阪府立図書館は、幅広い資料の収集・保存に努め、すべての府民が正確な情報・知識を得られるようサポートします。

<b>重点目標</b> 2-4	大阪府域全体の障がい者サービスの向上を図ります。				
<b>評価</b>	【評価の理由】				
<b>重点指標</b>	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（□ は中間結果）	
ホームページアクセス数	51,911	毎年 52,000			
府内市町村図書館・音訳者・利用者への研修等の参加者数	338	毎年 340			
情報交換会参加組織数	20	毎年 20			
【アクション・プラン】					
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページコンテンツの充実</li> <li>・府域市町村立図書館等への支援・協働 (研修会の実施、情報交換会の実施、アンケート実施・集約)</li> <li>・障がい者関係団体・施設等との連携強化 (実習・見学の受入、共催事業の実施、加盟団体実施事業への参加)</li> <li>・直接サービスの充実 (対面朗読協力者の育成、利用者への適切な資料提供)</li> </ul>					
<b>【アクション・プランのねらい】</b> (25年度当初に記入) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 22 年度の組織改編にともない、「対面朗読室」から「障がい者支援室」へ名称変更するとともに、サービス対象の拡充に努めてきた。今後は直接サービスの充実に努めつつ、都道府県立図書館として大阪府域全体の障がい者サービス水準の底上げを図る。そのために、関係施設・団体と連携しつつ、情報収集・発信をより強化することで、現状の把握と情報の共有、および府内市町村図書館等の課題解決に資することをめざす。</li> </ul>					

基本方針 2 大阪府立図書館は、幅広い資料の収集・保存に努め、すべての府民が正確な情報・知識を得られるようサポートします。

<b>重点目標</b> 2-5	デジタル資料の提供をはじめとする、情報通信技術の進展に合わせたサービス提供基盤の構築を進めます。				
<b>評価</b>		【評価の理由】			
	重点指標	24年度末 実績	目標	25年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
	図書館情報システムリプレースの実施	調達仕様 確定	デジタル資料活用の ための環境構築実現		
【アクション・プラン】					
	平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル資料へのシステム面での対応 (デジタル資料の蓄積、検索といった活用環境の整備)</li> <li>・NDL システムとの相互連携 (NDL 書誌データの取込・NDL 総合目録への提供等、NDL との連携強化)</li> <li>・新たなウェブサービスの構築 (スマートフォン対応・外部サイトとの連携)</li> </ul>				
【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度に予定している現行図書館情報システムの更新(リプレース)にあわせて、デジタル資料への対応、NDL デジタル化資料配信等の連携および、新たなウェブサービスの構築を実現する。また、デジタルコンテンツのアーカイブを進めるためのシステム環境を整備し、順次デジタルコンテンツのアーカイブを進める。</li> </ul>					

基本方針3 大阪府立図書館は、府域の子どもが豊かに育つ読書環境づくりを進めるとともに、国際児童文学館の機能充実に努めます。

<b>重点目標</b> 3-1	図書館利用が困難な環境におかれた子どもへのサービスを広げます。			
<b>評価</b>	【評価の理由】			
<b>重点指標</b>	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
関連事業の取組み件数	54	毎年 54		
外国語資料の貸出冊数	2,946	毎年 3,000		
【アクション・プラン】				
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用が難しい子どもたちへのサービスの提供 乳児院・児童養護施設への出前おはなし会の実施 手話を用いたおはなし会の実施 外国語によるおはなし会の実施</li> <li>・外国語資料の収集と利用の促進</li> </ul>				
<b>【アクション・プランのねらい】</b> （25年度当初に記入） <ul style="list-style-type: none"> <li>・府域の全ての子どもたちの豊かな読書環境づくりを推進するためには、来館が難しいこどもや、利用に際して何らかの援助が必要なこどもへのサービスの充実が必要である。来館が難しい児童養護施設への出前おはなし会、聴覚障がいを持つ子どもへの手話によるおはなし会、日本語を母国語としない子どもへの多言語によるおはなし会等を実施し、府域図書館等に成果をフィードバックする。</li> </ul>				

基本方針3 大阪府立図書館は、府域の子どもが豊かに育つ読書環境づくりを進めるとともに、国際児童文学館の機能充実に努めます。

<b>重点目標</b> 3-2	児童サービスの実践および情報収集の成果を広く発信し、子ども読書活動の推進に寄与するとともに、児童サービスに携わる人材の育成と交流を進めます。			
<b>評価</b>	【評価の理由】			
<b>重点指標</b>	24年度末実績	<b>目標</b>	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
実施した研修の参加者満足度	9.4	毎年 9.0 以上		
児童サービスホームページアクセス数	74,888	毎年 75,000		
【アクション・プラン】				
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童サービスに関する研修の実施 「子どもの読書推進活動支援員養成講座」 「公立図書館と学校との合同研修」 「児童サービス基本研修」 「児童サービス実務研修」 「児童サービス担当者連絡会」</li> <li>・児童サービスホームページの拡充 「子どもの読書推進に関わる人のページ」の新設</li> </ul>				
<b>【アクション・プランのねらい】（25年度当初に記入）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年度に実施し好評であった「支援員養成講座」の内容を精査し、最終的には府域のボランティア養成を市町村が受け持つことのできるよう、より趣旨に沿う形でプログラムを考え実施していく。</li> <li>・平成 25 年度に「子どもの読書推進に関わる人のページ」を新設し、研修の案内・資料・報告などを掲載していく。</li> </ul>				

基本方針3 大阪府立図書館は、府域の子どもが豊かに育つ読書環境づくりを進めるとともに、国際児童文学館の機能充実に努めます。

<b>重点目標</b> 3-3	学校のニーズ把握を進め、市町村立図書館と協力しながら、学校支援サービスを推進します。				
<b>評価</b>		【評価の理由】			
	<b>重点指標</b>	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
	協力貸出冊数(府立学校)	2,477	最終年度に 3,000		
	学校団体利用数	26	毎年 40		
	各種図書セットの貸出セット数	52	毎年 55		
【アクション・プラン】					
	平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別貸出セットの利用方法の実態調査、セット内容の検証</li> <li>・府立学校での図書館活用事例の情報収集</li> <li>・小学校との連携によるモデル事業の検討、ニーズの把握</li> </ul>				
<b>【アクション・プランのねらい】（25年度当初に記入）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での公共図書館資料の利用の実態について調査、情報を収集することにより、学校図書館支援方法について検証を行い、拡充の方向性を見極める。特別貸出セット内容の充実や貸出方法を見直すことにより、より利用されやすい環境を整えることとする。</li> <li>・小学校との連携によるモデル事業を検討する。平成 25 年度は、学校との調整を行い、実施可能なプログラムから開始。平成 26 年度以降は、学校カリキュラムに取り込んでもらえるよう働きかけ、調べ学習へと発展させる。また、府域図書館へとモデル事業として情報提供する。</li> </ul>					

基本方針3 大阪府立図書館は、府域の子どもが豊かに育つ読書環境づくりを進めるとともに、国際児童文学館の機能充実に努めます。

<b>重点目標</b> 3-4	国際児童文学館機能の充実に向け、資料の有効活用を図り、外部機関との連携を進めます。			
<b>評価</b>	【評価の理由】			
<b>重点指標</b>	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
連携事業をホームページで紹介	—	毎年1回更新		
国際児童文学館ホームページアクセス数	55,685	毎年56,000		
移転資料の再整理	—	最終年度までに3万点の移管完了		
【アクション・プラン】				
平成25年度	平成26年度		平成27年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究者、専門機関等との外部ネットワークの構築</li> <li>・大学、研究機関等との連携事業の促進</li> <li>・資料を利活用する事業の推進</li> <li>・ホームページの充実</li> <li>・移転資料の再整理</li> </ul>				
【アクション・プランのねらい】（25年度当初に記入）				
<p>図書館協議会の下部組織である国際児童文学館のあり方検討部会において指摘されたことを、実現に導く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究者、専門機関等との外部ネットワークを構築し、国際児童文学館の専門性確保につなげる</li> <li>・大学や研究機関等との連携事業を促進する</li> <li>・資料を利活用する事業（展示貸出や特別撮影を含む）を促進する</li> <li>・これらの事業や取組みの成果をホームページで公開し、周知する</li> <li>・ホームページを充実させて、海外からのアクセスもあるようなコンテンツを作成する。平成27年度までに英語で発信するページの作成をめざす。</li> <li>・再整理については、移転資料をより利用しやすくするため、照合点検とバーコードラベル・背ラベル貼付を予定。徐々に作業を進め、平成27年度末までに3万点の照合点検と移管の完了をめざす。</li> </ul>				

基本方針4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

<b>重点目標</b> 4-1	地域資料および古典籍の有効活用を図るとともに、大阪に関わる情報へのゲートウェイをめざして、データベースの拡充など、大阪のあらゆる分野に関する情報発信を強化します。			
<b>評価</b>	【評価の理由】			
<b>重点指標</b>	24年度末実績	<b>目標</b>	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
大阪関係コンテンツアクセス数	427,912	毎年 430,000		
大阪文献データベース新規登録数	2,610	毎年 2,650		
<b>【アクション・プラン】</b>				
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス事例公開・大阪文献データベースへのデータ登録の推進</li> <li>・「デジタル大阪ポータル」(仮称) 実現に向けた大阪文献データベースの機能強化の検討</li> </ul>				
<b>【アクション・プランのねらい】（25年度当初に記入）</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス事例を積極的にインターネットで公開していくことにより、大阪在住の利用者にはもちろん、大阪在住以外の利用者にも、当館所蔵の資料の紹介や、大阪について調査する際の参考資料および調査方法を提示する。</li> <li>・大阪に関係する図書、地域誌、広報誌などで取り上げられた細かい事象に関する記事は、書名からの蔵書検索や、一般的な雑誌記事検索のデータベースでは調査することが困難である。大阪文献データベースにこれらの記事を登録し、データベースを充実させることにより、図書館利用者の調査の便宜を図る。</li> <li>・図書館情報システムのリプレイスを機に、大阪文献データベースの機能強化の検討を行い、大阪のことなら何でもわかる「デジタル大阪ポータル」(仮称) をめざした取組みを進める。</li> </ul>				

基本方針 4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

<b>重点目標</b> 4-2	地域資料および古典籍サービスにおける専門性を活かし、外部人材・機関とのネットワークを形成します。			
<b>評価</b>		【評価の理由】		
<b>重点指標</b>	策定当初 23年度末	<b>目標</b>	25年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
連携事業数	3	3		
研修実施回数（講師派遣回数を含む）	2	2		
<b>【アクション・プラン】</b>				
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施 出前講習等の企画・実施</li> <li>・連携事業 連携先の拡大に向けた取組みの推進</li> <li>・参加型事業の検討</li> </ul>				
<b>【アクション・プランのねらい】（25年度当初に記入）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄積してきた専門性を活かし、研修や講師派遣を積極的に実施することにより、外部人材とのネットワークを広げる。</li> <li>・耐震補強工事により自館での活動が制約される中、図書館はもちろん、他機関との連携事業や協力を進めて、前年度並みの実績を維持する。</li> </ul>				

基本方針4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

<b>重点目標</b> 4-3	大阪府の行政資料を中心に、デジタル形態で発行される資料の収集と提供を進めます。			
<b>評価</b>	【評価の理由】			
<b>重点指標</b>	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
デジタル形態で発行される資料の収集・提供	—	最終年度までに収集・提供体制の構築		
【アクション・プラン】				
平成25年度	平成26年度		平成27年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館情報システムのリプレイスに合わせ、デジタル形態で発行される資料の収集に向けた運用体制の整備</li> <li>・地方行政資料のアーカイブ機能について、大阪府庁全体での協議を開始[22-24 外部]</li> </ul>				
<b>【アクション・プランのねらい】</b> （25年度当初に記入） <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館情報システムのリプレイスに合わせ、大阪府の行政資料を中心に、デジタル形態で発行される資料の収集・提供について検討し、その円滑な運用体制を整備する。</li> </ul>				

基本方針 5 大阪府立図書館は、府民に開かれた図書館として、府民とともにあゆみます。

<b>重点目標</b> 5-1	図書館が持つ資料や施設を活用し、府民の生涯学習活動を支援するとともに、地域の魅力づくりに貢献します。			
<b>評価</b>		【評価の理由】		
<b>重点指標</b>	24年度末実績	目標	25年度末実績	進捗（[] は中間結果）
利用者満足度	96.2%	毎年 95%		
イベント参加者数	5,229 人	毎年 5,300 人		
新規連携先数	-	毎年 3 件		
【アクション・プラン】				
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室・ホール等の図書館施設の利用実態の把握と分析</li> <li>・効率的な施設管理のあり方について検討</li> <li>・外部機関との連携強化</li> </ul>				
<b>【アクション・プランのねらい】（25年度当初に記入）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有料の貸出スペースであるホールや会議室の利用実態、およびより効率的な管理手法を分析するとともに、魅力ある施設づくりを検討。</li> <li>・企画展示エリア、展示コーナー、エントランスギャラリーについては、図書館企画事業の年間テーマ（平成 24～25 年度）「ネットワークを広げる」のもとに、外部機関との連携を強化し、利用促進につなげる。</li> <li>・図書館のもつ資料と施設を活用して、府民の生涯学習を支援するとともに、外部機関の協力を得ながら、地域の魅力づくりにつながる情報を発信する。</li> </ul>				

基本方針 5 大阪府立図書館は、府民に開かれた図書館として、府民とともにあゆみます。

<b>重点目標</b> 5-2	広域自治体の図書館としての府立図書館の役割や活動についての理解を広げ、利用促進につなげるため、特にインターネットを活用した情報発信を推進します。			
<b>評価</b>		【評価の理由】		
<b>重点指標</b>	24 年度末 実績	目標	25 年度末 実績	進捗(□は中間結果)
ホームページアクセス数	4,732,498	毎年 5,000,000		
ホームページ更新回数	727	最終年度に 800		
個人利用者ページアクセス数 (個人分のみ)	768,823	最終年度に 1,000,000		
【アクション・プラン】				
平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットにおける広報手段の開拓[H23 外部評価]</li> <li>・ホームページの再構築</li> <li>・ウェブサイト利用分析</li> </ul>				
【アクション・プランのねらい】(25 年度当初に記入)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度は、図書館情報システムのリプレースに併せてインターネット環境についても更新を予定している。</li> <li>・WEB サイトの更新を容易にする CMS (コンテンツマネジメントシステム) の導入や、ツイッター (Twitter) やフェイスブック (FACE BOOK) などの新しいコンテンツ配信手法の導入を検討する。</li> <li>・CMS の導入にあたっては、現状の利用状況を分析することにより利用者に使いやすく関心を持ってもらえるホームページに再構築し、重点目標の実現に繋げていく。</li> </ul>				